

IBM Cloud Data Connect

本「サービス記述書」は IBM がお客様に提供する「クラウド・サービス」について規定するものです。お客様とは、契約を結ぶ当事者、その許可ユーザーおよび「クラウド・サービス」の受領者を意味します。適用される「見積書」および「証書 (PoE)」は、別途「取引文書」として提供されます。

1. クラウド・サービス

IBM Cloud Data Connect は「クラウド」をベースにしたフルマネージドのデータ準備・移動サービスで、アナリスト、開発者、データ・サイエンティストおよびデータ・エンジニアがデータを活用できるようにします。Data Connect は技術ユーザーと非技術ユーザーに、アプリケーション開発や分析に関するユース・ケースの支援として、データを発見、クレンジング、標準化、変換、ならびに移動する権限を与えます。

IBM クラウドは本「クラウド・サービス」オフリングの技術的な前提条件になります。IBM クラウド・サービスへアクセスするには、ここ (<https://console.ng.bluemix.net/registration/>) でサインアップしてください。

1.1 オプション・サービス

1.1.1 IBM Cloud Data Connect Personal

「インスタンス」ごとに、1 か月当たり 100 アクティビティの実行または最大 1 TB のアウトバウンド・データ帯域幅。アウトバウンド帯域幅は、ターゲットにコピーされたデータ量として定義されます。

1.1.2 IBM Cloud Data Connect Professional

「インスタンス」ごとに、1 か月当たり 500 アクティビティの実行または最大 5 TB のアウトバウンド・データ帯域幅。アウトバウンド帯域幅は、ターゲットにコピーされたデータ量として定義されます。

1.1.3 IBM Cloud Data Connect Enterprise

「インスタンス」ごとに、1 か月当たり 5000 アクティビティの実行または最大 50 TB のアウトバウンド・データ帯域幅。アウトバウンド帯域幅は、ターゲットにコピーされたデータ量として定義されます。

2. コンテンツおよびデータ保護

「データ処理およびデータ保護に関するデータ・シート」(「データ・シート」)には、処理対象の「コンテンツ」の種類、発生する処理活動、データ保護機能、および「コンテンツ」の保存および返却に関する仕様書に関する、「クラウド・サービス」に固有の情報が記載されています。「クラウド・サービス」およびデータ保護機能に関する詳細または説明および条件(お客様の責任を含みます。)がある場合には、本条に記載されます。お客様が選択したオプションにより、「クラウド・サービス」のお客様による使用に適用される「データ・シート」が複数ある場合があります。「データ・シート」は英語のみの提供となります(現地言語での提供はありません)。現地の法律または慣習の慣行にかかわらず、両当事者は英語を理解していること、および「クラウド・サービス」の取得および使用に関して英語が適切な言語であることに同意します。以下の「データ・シート」が「クラウド・サービス」およびその利用可能なオプションに適用されます。お客様は、i) IBM が、IBM のみの裁量により、「データ・シート」を随時変更することができ、かつ ii) かかる変更された内容が変更前の内容に置き換わることを承諾します。「データ・シート」に対する変更は、i) 既存のコミットメントの改善もしくは明確化、ii) 最新の採用された基準および適用法への整合の維持、または iii) 追加コミットメントの規定のいずれかを行うことを意図しています。「データ・シート」のいかなる変更も「クラウド・サービス」のデータ保護を著しく低下させるものではありません。

適用される「データ・シート」へのリンク:

<https://www.ibm.com/software/reports/compatibility/clarity-reports/report/html/softwareReqsForProduct?deliverableId=1A794120B4F911E7A9EB066095601ABB>

お客様は、「クラウド・サービス」の利用可能なデータ保護機能を注文、有効化、または使用するために必要な対策を講じる責任を負うものとします。お客様がかかる対策を講じることを怠った場合（「コンテツ」に関するデータ保護またはその他の法的要件を満たさないことも含みます。）には、お客様は「クラウド・サービス」の使用に対して責任を負います。

3. テクニカル・サポート

「クラウド・サービス」に対するテクニカル・サポートが提供されます。IBM の IBM Software as a service support guide (https://www-01.ibm.com/software/support/saas_support_guide.html) には、テクニカル・サポートの連絡先情報ならびにその他情報およびプロセスが規定されています。テクニカル・サポートは「クラウド・サービス」と共に提供されるものであり、別個のオフリングとして提供されるものではありません。

4. エンタイトルメントおよび課金情報

4.1 課金単位

「クラウド・サービス」は、「取引文書」に記載された課金単位に基づいて提供されます。

- 「インスタンス」は、「クラウド・サービス」を取得する際の課金単位です。「インスタンス」は、「クラウド・サービス」の特定の構成へのアクセスを意味します。お客様の「PoE」または「取引文書」に定める課金期間中にアクセスおよび利用が可能な「クラウド・サービス」の「インスタンス」ごとに十分なエンタイトルメントを取得しなければならないものとします。

4.2 請求頻度

選択された請求頻度に基づき、IBM は請求頻度期間の開始時点で支払い期日の到来している料金をお客様に請求します。ただし、後払いの対象となる超過分や料金の使用タイプは除きます。

5. 期間および更新オプション

「クラウド・サービス」の期間は、「PoE」に記述されるとおり、「クラウド・サービス」へのお客様のアクセスについて、IBM がお客様に通知した日に開始します。「PoE」には、「クラウド・サービス」が自動的に更新されるか、継続利用ベースで続行されるか、期間満了時に終了するかが記載されます。

自動更新の場合には、お客様が期間満了日の少なくとも 90 日前までに書面により更新しないことを通知する場合を除き、「クラウド・サービス」は、「PoE」に定める期間につき自動更新されます。

継続利用の場合には、「クラウド・サービス」は、お客様が 90 日前までに書面により終了を通知するまで、月単位で継続利用することができます。「クラウド・サービス」は、かかる 90 日の期間後の暦月末日まで引き続き利用することができます。

6. 追加条件

6.1 共通事項

お客様は、「クラウド・サービス」を、単体または他のサービスもしくは製品と組み合わせて、高リスク活動、即ち核施設、公共交通システム、航空管制システム、自動車制御システム、兵器システム、または航空機の航行もしくは通信の設計、構築、管理、もしくは保守、または「クラウド・サービス」の障害が生命の危険や重大な人身傷害を引き起こすおそれがあるその他のいかなる活動のサポートのためにも使用しないものとします。

6.2 ベータ機能

「クラウド・サービス」の一部の機能、フィーチャーまたはコンポーネントは早期リリースまたはテクノロジーのプレビュー版で、「クラウド・サービス」内で「ベータ」として特定されることがあります。（以下「ベータ機能」といいます。）これらの「ベータ機能」は、本項の制限および条件を前提として、「クラウド・サービス」のお客様の許可された使用の一部として利用することができます。「ベータ機能」の使用はお客様自身の責任であり、いかなる種類のサポートの義務も伴わず提供されます。「ベータ機能」は、特定物として「現状有姿」で提供され、権原の保証、第三者の権利の非侵害または非抵触、

ならびに商品性および特定目的適合性に関する黙示の保証を含むがこれに限らない、明示もしくは黙示のいかなる保証もされません。「ベータ機能」は、IBM によって、製品もしくはオフアリングとして、または製品もしくはオフアリングに組み込まれて一般出荷可能になっていない場合があります。IBM は、いつでも事前の通知なく、「ベータ機能」へのアクセスを中止または終了することができます。お客様は、「ベータ機能」を使用できなくなった場合に起こりうるデータの損失を回避するため、予防措置を講じるものとします。IBM に対しお客様が提供した「ベータ機能」に関するフィードバックまたは提案は、IBM の製品およびサービスの開発、配布、デプロイメントおよび販売において、自由に使用、複製、変更でき、また組み込むことができます。

6.3 蓄積データの使用

IBM は、「クラウド・サービス」に対する改善や拡張の IBM 社内における研究、テスト、および開発、またはよりカスタマイズされた有意義な経験をユーザーに提供する新サービスの開発を目的として、お客様による「クラウド・サービス」の使用を監視することができます。この利用の際に、IBM は、お客様の許可ユーザーによる「クラウド・サービス」の利用を反映する、集計された匿名形式の要約情報を蓄積して分析し、さらに、報告書、研究論文、分析、およびこれらの蓄積および分析から生じるその他の作業の結果(以下、総称して「蓄積データ」といいます。)を作成することができるものとします。IBM は、「蓄積データ」に対する権利を保持するものとします。